

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の状態判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	コンビニ（経営 企画担当）	来客数の動き	・気温が高く推移していることから、週末の人流が活発になっている。また、クリスマス商材も順調に伸びている。
	◎	家電量販店（営 業担当）	単価の動き	・来客数は前年並みだが原材料の値上げにより消費単価が10%上昇している。
	○	商店街（代表 者）	来客数の動き	・3か月前と比べて飲食業や観光業は良いが、物販業は厳しい状況である。
	○	一般小売店 [酒]（店長）	販売量の動き	・観光客数の増加やイベントの開催により人流が活発になっている。
	○	百貨店（経営担 当）	来客数の動き	・年末需要が高まり国内外の観光客数が増えて、当店の買上客数が増加している。
	○	スーパー（企画 担当）	単価の動き	・商品値上げの影響で節約志向が高まり、1人当たりの買上点数が落ち込んでいるものの、単価が上昇したことにより前年の売上を超えている。
	○	一般レストラン （代表者）	単価の動き	・忘年会により客が増加し、客単価も上昇している。
	○	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・9月の販売室数が前年比28%増加なのに対し、12月は前年比30%増加と、プラス幅が大きくなっている。
	□	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・人の動きが活発になり消費も増加している。一方で、燃料費や物価高騰などの影響で、節約志向が広がっている。そのため、12月は日によって売上の差が大きくなっている。
	□	乗用車販売店 （経理担当）	来客数の動き	・来客数の目立った増減はない。
	□	その他専門店 [陶器]（製 造）	販売量の動き	・3か月前とは余り変わらないが、前月比では忙しい。
	□	その他飲食店 [バー]（営 業者）	来客数の動き	・当店の来客数に大きな変化はないが、周辺の同業者からは例年より来客数が減少しているという声も聞く。
	□	旅行代理店（マ ネージャー）	お客様の様子	・物価高もあり近場でゆっくりできる場所の相談が多い。売上は微増である。
	□	住宅販売会社 （役員）	お客様の様子	・建築費の高騰が続き、新築マンションの価格も上昇していることから顧客も慎重である。
	▲	コンビニ（副店 長）	単価の動き	・今月中旬までは比較的良い傾向であったが、インバウンドの急速な回復によりどこも訪日外国人であふれ、国内需要がうまく循環していない。
	▲	通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・販売量が前年比の78%と減少している。他社からの乗換えは前年を上回っているが、機種変更が大きく減少している。物価高騰などの影響により消費者が料金の安いキャリアに変更している。
▲	住宅販売会社 （取締役）	お客様の様子	・主要部門の受注件数が目標より大きく減少している。	
×	—	—	—	—
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	—	—	—
	○	窯業土石業（取 締役）	受注量や販売量 の動き	・3か月前との比較で工事受注が増加しており、製造も一時期と比較して繁忙傾向にある。
	□	会計事務所（所 長）	それ以外	・物価高の一方で賃金上昇もあり、人の動きも活発になっているが、心理的不安が残っているとみている。
	▲	—	—	—
雇用 関連  (沖縄)	×	—	—	—
	◎	—	—	—
	○	学校[専門学 校]（就職担 当）	周辺企業の様子	・2026年卒の採用として、新規で早期選考を実施する企業が増加している。夏のインターンシップから個別に案内をすることで早期選考を実施し、年内での内定出しを行う動きがみられる。
	□	人材派遣会社 （総務担当）	求職者数の動き	・求人案件は増加しているが、求職者とのマッチングにつながらない。
□	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規の求人数、求職者数は引き続き減少傾向にある。物価高の影響により、シニア層の求職者数は増加している。引き続き物価高の影響を注視している。	

□	学校 [大学] (就職支援担 当)	それ以外	・物価高騰、ガソリン価格の値上げなどがあることから購買意欲は上がらないとみている。
▲	求人情報誌製作 会社 (営業)	求人数の動き	・年末に向けて求人数は減少傾向にあり、前年比でも求人数は下回っている。飲食、小売、派遣業の求人数は他業種と比較して減少率が大きい。
×	—	—	—